



## カードゲームで防災教育

10月29日(火)、全クラスで防災教育を行いました。今回は、カードゲーム形式で学ぶ防災教育です。各学年で異なるカードゲームをしました。1年生は、防災グッズの使い方などの防災知識や技能が学べる「シャッフル+」、2年生は阪神・淡路大震災を契機に作られた「クロスロード」、3年生は和歌山県が開発した「きいちゃんの避難所運営ゲーム」です。これらはPTAで購入したものです。



1年生「シャッフル+」



2年生「クロスロード」



3年生「避難所運営ゲーム」

香川県は自然災害が全国トップレベルで少ないですが、日本は世界の中でもとても多い国です。県外に旅行中、たまたま災害にあうこともありえます。将来、県外で暮らす可能性もあります。親戚や友人が被害にあうこともあるでしょう。台風や大雨による洪水、土砂崩れなどは事前に警戒もできますが、火山の噴火や地震は突然やってきます。

中学生ともなれば、助ける側として戦力になれます。これからの人生、経験したことがないような難しい場面で判断することもあるでしょう。さまざまな立場の人がいて、さまざまな意見があることを知ったうえで決断がせまられるかもしれません。



【1年 シャッフル+】



【3年 避難所運営】



【2年 クロスロード】